

## 声に出して言いましょ！ Say It Out Loud!

---

彼女の頭のとっぺんにきちんとまとめられた白髪のおだんごは、講師の言葉に同意して元気よくうなずくたびに揺れていました。彼女は、ライトハウスの集会で、部屋の後ろの方に座り、ライトハウスのリーダーシップチームの一員として奉仕する孫娘と一緒に参加していたのでした。私はこの人の平安な様子に引かれ、集会が終わった後、そばに行って座りました。

彼女は私の手を取って、自分の経歴の一部を話してくれましたが、その間中、優しい笑顔が絶えることはありませんでした。現在 92 歳の彼女は、1920 年代、16 歳の時に、サウステキサスのちっぽけな町からシカゴに宣教師の働きのために出てきたのでした。

いくつかの冒険や聖霊の紛れもない現れについて語ってくださいました。シカゴのような大都市で、無垢なティーンエイジャーの目には身のすくむような状況だったことでしょう。

「どうしてそんなに勇敢になれたのですか？」と彼女が一息ついたときに私は尋ねました。

「そうではないのよ、決して私が選んだことではないの。疑いようもなく、神さまが私にしなさいと召しを与えられ、私はそれにしがみついていただけ。私がしたことと言えば、神さまを信じ、神さまが私について語られたことを信じること。その他のことは神様がしてくださいました。」

リーダーとして働く中で、違う方向に逃げ込みたいと思うことがときにあります。目の前にそびえたつものがあまりにも不確実だからです。そのようなときにこそ、神が私たちが何者だと言っておられるか、私たちについて何と語っておられるかということに、岩のように固く確信を持たなければなりません。

グラハム・クックは、「皆さんに伺います。神さまはあなたについて何とされていますか？どんな約束を与えられていますか？それらを当然のことと見なしましょう。私たちは、ニーズに動かされる文化から抜け出して、私たちに与えられた相続の霊の下に入り、つまり、布告の霊のもとに来て、逆の霊の内でも動き始めるのです。それはまた、御父御自身の中で、御自身が私たちになって欲しいと思っておられる全ての者として、喜んで留まるということです。あなたについての布告がありません。神があなたの人生の中で何かを語られるとき、神は布告しているのです、宣言しているのです、そしてあなたの告白がその天の言語と結びつく必要があります。天の言語はあなたの頭の周りに浮かんでいて、あなたがそれを口にすると、あなたの言葉が神の言葉と結びついて、あなたの中に何かを創り出されるのです。しかしそれは、絶えず、一貫して声に出していかなければなりません。

ヨシュア 1:9 わたしはあなたに命じたのではない。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。

## 実践的な適応

神は常に、私たち個人個人に働きかけ、新しい場所に連れて行って、グループとしての、打ち負かされることのない力を建て上げます。あなた自身が、天の視点から見て何者であるかを知っていることが重要です。グラハム・クックは、あなたが自分はこういう者であると信じていることを、周りの空気に声に出して宣言しなければならない、と言いました。敵の仕事は、あなたからあなたのデステニーを奪うことです。あなた自身の召しが見えないようにしようとします。

1-4人の友達と組んで、どのようにあなたを見ているか教えてもらいましょう。そのコメントを書き留めます。下記の質問も使ってみてください。

1. 私にはどんな賜物や資質があると思いますか？
2. 私がその賜物や資質を用いて他の人々のいのちに触れることを、どのように見えていますか？
3. 私の強いところは何だと思いますか？弱いところは？
4. 私の強いところに対して、何と語りかけますか？
5. 私の弱いところに関して、神さまが私の内に置かれた可能性を十全に立ち上がらせるため、私をどのように励ましますか？

ここまでできたら、もらったコメントを取り、聖霊に、天であなたがどのように知られているかを表す文を与えていただきましょう。その二つをまとめて、御国であなたがどのように知られているかということとあなたのアイデンティティを一致させた、一つの布告としてください。読み返して、必要があれば修正します。もう一度読み返します。次に、グループで順番に自分の新しい声明を声に出して読み上げます。最初は、自分の声で自分自身について立派なことを布告することに躊躇するかもしれませんが、慣れていきましょう。これは、天があなたを見るようにあなた自身を見ることの、ほんの始まりに過ぎないからです！